

広島市植物公園

見どころ案内

フヨウとスイフヨウ (アオイ科)

日本を含む東アジア原産の落葉低木。一日花ですが、毎日たくさんの花が咲きます。八重で花色が白からピンクに変化するものは酔芙蓉すいふようといいます。

薬用植物展

薬用植物約100点を展示し、その効能を紹介します。
[展示温室にて 9月29日(木)まで]

ヒガンバナの仲間 (ヒガンバナ科)

おなじみの赤いヒガンバナのほかにもクリーム色のシロバナマンジュシャゲ、黄色のショウキズイセンも咲いています。

大温室改修のため 休館中

リニューアルオープンが平成29年秋ごろです。(予定)

サガリバナ

(サガリバナ科)

熱帯・亜熱帯に分布する常緑樹。日本には奄美大島などの川沿いに自生。花卉は淡紅色で香りを放ちます。夜に咲き、翌朝には落花します。午前中の早い時間なら見ることができます。

カリガネソウ (シソ科)

東アジア原産の多年草。虫が花にとまる際、背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。紫色の清楚な花で、帆掛船に見立てて、別名は帆掛け草(ほかけそう)。

シクラメン・ヘデリフォリウム (サクラソウ科)

ヨーロッパ原産の球根植物。夏の終わりに地中から出た花茎に花を咲かせ、葉は後から出てきます。

秋の七草

ハギ、キキョウ、オミナエシ、フジバカマの花が同時に見られます。ハギ園では‘秋の七草’のほか、マメ科の植物を見られる植栽にリニューアルしております。

秋の山野草展

秋咲きの山野草を自然味あふれる鉢作りで展示します。
[屋外展示場にて 9月22日(木・祝)まで]

植物友の会作品展

植物友の会会員による鉢花や植物写真、クラフトなどを展示します。
[展示資料館1階展示室にて 9月25日(日)まで]

